

兵庫県のに漁場環境情報 (西播海域 7 号)

2021年12月15日発行
 兵庫のに研究所

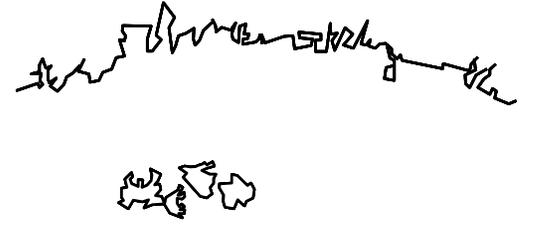
播磨灘全域において大型珪藻コシノディスカスが発生していましたが、この海域では前回(12/9)調査よりさらに減少し、ほとんど確認されなくなりました。

窒素は、地先漁場で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、沖合漁場西部で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、東部で $1 \mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。

(珪藻)

海域全体でキートセロス及びスケルトネマが散見(1mlあたり10細胞以下)され、室津漁場のみスケルトネマが150細胞/ml程度確認された。海域全般に、栄養塩を消費する珪藻類の発生量は少ない状況である。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.5	2.2	4.2	1.0
	リン	0.55	0.47	0.52	0.38
家島・坊勢	窒素	1.1	1.7	5.2	2.7
	リン	0.49	0.46	0.67	0.62

(12/2)
 ※西播地先は
 赤穂を除く

(12/11)

栄養塩 (窒素) 図

2021年12月15日調査

